

第17回
全国児童発達支援
施設運営協議会
大阪大会

兼 近畿地区児童発達支援部会

開催要綱

令和元（2019）年

12月2日（月）～3日（火）

13:00

12:30

会場 **アートホテル大阪ベイタワー**（通所分科会・全体会）

シティプラザ大阪（入所分科会）

主催 公益財団法人日本知的障害者福祉協会 近畿地区知的障害者施設協会
一般社団法人大阪知的障害者福祉協会



第17回 全国児童発達支援施設運営協議会 大阪大会 兼 近畿地区児童発達支援部会

開催要綱

1. テーマ

子どもの「育ち」を支える 新たなマインドセット
～児童福祉法から障害児支援の望ましい展開に向けて～

2. 趣旨

「子ども・子育てビジョン（内閣府）」「新たな子ども家庭福祉のあり方に関する専門委員会提言：新しい社会的養育ビジョン（厚労省：社会保障審議会・児童部会）」など子どもを取り巻く包括的な方向性が示される中において、障害児にかかる制度は、制度間にもつれが生じたり、地域間格差であったり、障害児童とその家族が置かれた現実を直視して、まとまりに欠けた不調和が起こらぬよう現場からの発信が重要となります。

医療・教育・福祉と高度な専門性が求められていますが、児童発達支援センター・（福祉型）障害児入所施設は、良くなってきたのか、それともより困難になってきたのか。必要な課題解決に向けて障害児支援に携わる会員各施設からの現状報告や意見交換を深め、望ましい在り方に向けての運営協議会を実施します。

3. 主催 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 近畿地区知的障害者施設協会 一般社団法人 大阪知的障害者福祉協会

4. 後援（予定） 大阪府 大阪市 堺市

5. 日時 令和元（2019）年12月2日（月）13:00～12月3日（火）12:30

6. 会場 アートホテル大阪ベイタワー（通所分科会・全体会）

大阪市港区弁天 1-2-1 ☎06-6577-1111

シティプラザ大阪（入所分科会）

大阪市中央区本町橋 2-31 ☎06-6947-7888

7. 参加費 大会参加費 会員 1名 12,000円 非会員 1名 15,000円 交流会参加費 1名 8,000円

8. 参加者

- ・児童発達支援（入所・通所）に携わる施設・事業所の長及び支援スタッフ
- ・障害児相談支援、相談業務に携わる事業所の長及び支援スタッフ
- ・保育、幼児教育、特別支援教育等の関係機関の方
- ・その他、発達支援及び家族支援に興味ある方

9. 定員 定員 410名

福祉型障害児入所施設（入所）

【第1日目】
12月2日（月）

- 12:00～ 受付
- 13:00～13:15 開会式
挨拶 (一社) 大阪知的障害者福祉協会会長 裕上 利男 (北摂杉の子会：大阪)
趣旨説明 (公財) 日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会 副部会長 岡崎 俊彦 (奥中山学園：岩手)
- 13:15～14:35 基調報告
「障害児入所施設の現況から～これまでの歩みを通じて～」
報告者 安城 一郎氏 (向陽学園 理事長：大阪)
- 14:35～14:55 休憩
- 14:55～17:00 分科会討議

第一分科会「過齡児（年齢超過児童）」

過齡児の在所延長規定の経過措置期限を3年延長し、令和3年3月31日となりました。平成24年の児童福祉法の改正から現在まで年齢超過児童は格段に減少、同時に福祉型障害児入所施設数が減り、入所定員数も大幅に減少しました。経過措置の期限が迫る中、各施設からの発表を受けて討議を行います。

岡崎 俊彦氏 (奥中山学園：岩手)

高野 康彦氏 (地域生活支援センター・三田谷治療教育院：兵庫)

木村 勝也氏 (第2三恵園：大阪)

第二分科会「養育・支援（障害特性の多様化）」

単純な知的障害児はいません。自閉症スペクトラム障害のみならず被虐待児童の増加、愛着問題トラウマを抱える子どもたちへのケアが拡がり、障害特性の多様化が喫緊の課題です。「新しい社会的養育ビジョン」にも示される治療的養育に向けて取組む現況から討議します。

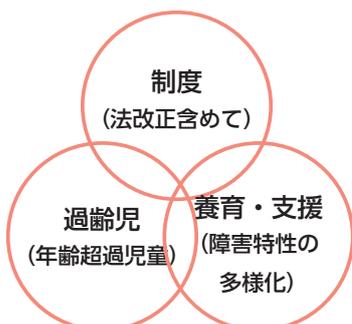
遠藤 光博氏 (ノビロ学園：北海道)

調整中 (==子ども家庭センター：大阪)

山崎 康一郎氏 (日本福祉大学：東京)

北口 美弥子氏 (豊里学園：大阪)

シ
テ
ィ
プ
ラ
ザ
大
阪



第三分科会「制度（法改正含めて）」

「措置」と「契約」の課題を始め同じ障害児入所施設でありながら委託一時保護も加わる等、大都市部と地方部で施設ケアの開差であったり所管問題や児童福祉と障害福祉の併用が限界を迎えつつある中、討議を深めます。

- 高倉 健二氏（黒部学園：富山）
- 笹川 宏樹氏（同志社大学 心理臨床センター：京都）
- 白土 隆司氏（あゆみの丘・児童心理治療施設：大阪）
- 石井 芳明氏（武田塾・児童養護施設：大阪）
- 山村 健氏（旭川荘 川崎医療福祉大学：岡山）

17:00 ~ 05 分科会終了・オリエンテーション

..... チェックイン その後、交流会会場（アートホテル大阪ベイタワー）に移動

18:30 意見交換会（交流会）

20:15 終了（1日目）

..... チェックアウトを済ませてアートホテル大阪ベイタワーに移動

9:00 ~ 開場・受付

2日目は入所と通所で合同開催です

9:30 ~ 9:50 開会

- 挨拶①（公財）日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会長
北川 聡子（むぎのこ児童発達支援センター：北海道）
- 挨拶②（公財）日本知的障害者福祉協会 副会長
樋口 幸雄（横手通り43番地「庵」：京都）
- 挨拶③ 大阪府 又は 大阪市

9:50 ~ 10:50 行政説明

10:50 ~ 11:50 各分科会報告

- ①児童発達支援（通所） 第一分科会 ②児童入所 第一分科会
- ③児童発達支援（通所） 第二分科会 ④児童入所 第二分科会
- ⑤児童発達支援（通所） 第三分科会 ⑥児童入所 第三分科会

11:50 講評

12:00 閉会

【第2日目】
12月3日（火）

アートホテル大阪ベイタワー

児童発達支援（通所）

【第1日目】12月2日（月）

12:00～

受付

13:00～13:15

開会式

挨拶 (公財) 日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会長
北川 聡子 (むぎのこ児童発達支援センター：北海道)
趣旨説明 大会実行委員長
岡本 とも子 (児童発達支援センター仔鹿園：奈良)

13:15～14:35

基調講演「家族支援 ～子ども主体の支援～」

岩崎 隆彦氏 (姫島こども園 園長：大阪)

14:35～15:05

発題①「放課後等デイサービス事業の現状と家族支援の取組み」

南 阿佐美氏 (障害児者余暇生活支援センターじらふ：大阪)

15:05～15:35

発題②「保育所等訪問支援の実際と家族支援」

中西 真佐子氏 (高槻市立うの花療育園：大阪)

15:35～15:50

休憩

15:50～17:30

分科会討議

多様化する子どもの姿やニーズ、それに対する多岐にわたる通所支援事業所の実態。これら全ては本人への支援とも家族への支援とも考えられます。このことを私たちは今いちど検証し、子どもたちの最善の利益に繋がる家族支援とは何かを討議したいと思います。

第一分科会「放課後等デイサービス事業を含む学齢期からの家族支援」

コーディネーター 福元 興氏 (すぎな愛育園：東京)

第二分科会「保育所等訪問支援事業や児童発達支援における家族支援」

コーディネーター 岡本 とも子氏 (児童発達支援センター仔鹿園：奈良)

アートホテル大阪ベイタワー

第三分科会「これからの児童発達支援センターの役割」

コーディネーター 米川 晃氏（柏学園：広島）

17:30 分科会終了

..... チェックイン

18:30 意見交換会（交流会）

【第2日目】
12月3日（火）

9:00～ 開場・受付

2日目は入所と通所で合同開催です

9:30～9:50 開会

- 挨拶①（公財）日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会長
北川 聡子（むぎのこ児童発達支援センター：北海道）
- 挨拶②（公財）日本知的障害者福祉協会 副会長
樋口 幸雄（横手通り43番地「庵」：京都）
- 挨拶③ 大阪府 又は 大阪市

9:50～10:50 行政説明

10:50～11:50 各分科会報告

- | | | | |
|-------------|-------|-------|-------|
| ①児童発達支援（通所） | 第一分科会 | ②児童入所 | 第一分科会 |
| ③児童発達支援（通所） | 第二分科会 | ④児童入所 | 第二分科会 |
| ⑤児童発達支援（通所） | 第三分科会 | ⑥児童入所 | 第三分科会 |

11:50 講評

12:00 閉会

アートホテル大阪ベイタワー